

---

# オリオン座

りの。

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オリオン座

### 【Nコード】

N2425BA

### 【作者名】

りの。

### 【あらすじ】

それなりに大きな肺が必要です。

オリオン座が沈む瞬間を見たことがあるだろうか。

あいつは、とてもきれいだ。巨大な幾何学が、誰が造ったのか計り知れない巨大なものが大きくゆっくりと沈んでいく様は、言葉を失う。

いつものようにタイマーをセットして、明け方の少し前に起き出す。震える体を緊張させながら、軽い外出用のジャージに着替える。

ランニングシューズをはいて、親を起こさないように静かに玄関の鍵を回し、そっと扉を開ける。

僕がオリオン座が沈むのを見続ける事にはまったのはおよそ二ヶ月ほど前の事だった。そのころも僕は悶々と小さな事や大きなこと、目先、少し遠い未来、そして自分自身の心の不安定さに焦点を当て続けていて、おまけに昼夜逆転していた時期だった。

夜中の三時ごろにおもむろに家を出て軽く散歩しようと思って、そしてそれを見たんだ。

いつものようにオリオン座はそこに横たわっていた。よくわからないうが、オリオン座は遙か地平線に沈むときは横たわって沈むんだなつまり、あの真ん中の三つの点々が立ち上がり、それを取り巻く四方の星が地平線近くに横長の台形を模るわけだ。

そいつは、もう、言葉にできないくらい、荘厳なものだ。なにがって、それは、もうそいつと呼んでしまうような、存在に変わるからだ。天中だとオリオン座は他の様々な星々と相まって、それなりの大きさと格好を保つことになる。けれど、地平線へ沈む時、それは僕らの住む地球上の物々と比較され、明らかかな常識をぱんと打ち砕いてしまう。変な言い方だけどね。でもそんな感じなんだ。ぱあ

ん。僕は最初にそれを見た時そんな感じがした。それを見れば全ての悩みがふつとんで、心全体の浄化を感じるなんて言っつもりはなはだない。だけどそれを知ったっていうのが、大事だと思うんだ。自分の住む世界、というか、自分がいま見る事の出来る世界のメタ、つまり今いたところに立つ自分を見れるような、もう一枚膜を破った場所にいるいろんなものを見れる気がするんだ。まあそれを破ったところで、何層にも、何重層にも膜に覆われているんだけど、この話は終わりがいいからやめとこう。僕が言いたいのは、その膜を上を向いて絶えず破り続ける、なんていう最近の自己啓発的な人のエネルギーを無意識レベルにまで入ってって吸い取る資本主義的な洗脳の空気じゃなく、膜を破るといふその行為はそれを大切に見てやるっていうくらいに価値はあるんじゃないのかってことなんだ。微妙な帯域なんだけどさ。見過ぎても答えはないし、かといって全くもってメタに飛んで行かないってのも悲しい話だとも思う。

僕は長々と横たわって沈みゆくオリオン座にそう叫んでみた。状況は何も変わらない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2425ba/>

---

オリオン座

2012年1月6日02時49分発行